資料１１

議題１１　普通財産の計画的、効率的な処分方法について（東海市提出）

市名	回答 （１）計画的・効率的な処分の事例
名古屋市	無
豊橋市	特にありません。
岡崎市	処分可能な普通財産から随時入札により処分をしています。計画的、効率的な処分の実施はできていません。
一宮市	現在、当市でも同様の課題を抱えています。計画的、効率的な処分方法とあわせて用途廃止した普通財産の引継ぎに関するルールの策定を検討しています。
瀬戸市	特にはなく、本市でも課題となっている。
半田市	既存の普通財産は、５段階にランク付けし、優先度が高いランクのものから処分を進めるよう計画を立てている。 （A売払いを進めることができる・B売払い可能性はあるが諸課題の解決を要する・C所管換等による活用可能性有・D1現貸付土地で売払い可能性有・D2現貸付土地で売払い可能性低い・E売払いできる可能性が低い）
春日井市	現在は計画等なし
豊川市	特になし。
津島市	特にありません。
碧南市	特になし
刈谷市	なし
豊田市	・毎年度、未利用財産の特性に応じで財産仕分け（３区分）をし、異なる所属が連携しながら計画的に売却等の手続を進めている。 ・具体的には、まちづくり等に影響する大規模物件等は資産経営課（企画政策部）が地域等を交えて慎重に検討を進め、宅地利用等に限定される物件は財産管理課（総務部）が一般競争入札を実施、その他、利活用が限定される物件は、市ＨＰ等で随時情報開示（現在調整中）し、随契処分等に応じる体制としている。
安城市	本市も同様の課題を抱えており、議題８、９のような取組みを検討しております。
西尾市	他課から引き受ける普通財産（土地）は、原則、売却することとしています。具体的な計画はありませんが、翌年度分の入札会場の予約までには、翌年度の入札スケジュール案を作成するように努めています。
蒲郡市	特にありません。
犬山市	特になし
常滑市	面積と形状がある程度活用しやすい土地であれば優先して売却に向けて準備していくが、面積が小さい又は不整形な土地などは市で保有と管理を続けていかなければならず、当市としても課題。
江南市	特になし
小牧市	計画的、効率的な処分事例はありません。
稲沢市	特に無し。
新城市	なし。（本市も苦慮しているところです）
東海市	議題提出市
大府市	特になし
知多市	市有財産有効活用民間提案制度を導入し、利活用の方法を募集しているが、実績はまだない。
知立市	当市におきましても、用途廃止となった施設は各所管課にて売却を含む活用の検討を行ったうえで、活用予定がない場合に更地渡しで普通財産として引き継ぐ運用としております。一部の土地については駐車場等として一時貸付を行っているものの、基本的には貴市と同様に、引き継いだ後の土地の維持管理（特に定期的な草刈り）に要する事務負担や管理費用が管財部門の大きな負担となっております。
尾張旭市	今年度、売却・貸付・広告掲載等の有効活用が可能と思われる土地をリストアップし、庁内での協議（審議）を経て、処分等について検討していく予定。 ただし、仮に売却の公募を行ったとしても購入者がいない可能性もあり、維持管理事務及び費用については、本市にとっても課題である。
高浜市	事例無
岩倉市	特にありません
豊明市	議題８にて記載した愛知県宅建業協会との協定を活用していく方針。
日進市	該当なし。
田原市	特になし
愛西市	「愛西市廃止施設の活用方針及び手続きを定めるガイドライン」及び調整区域内施設については、「愛西市市街化調整区域内地区計画ガイドライン」に基づいて、処分を進めている。
清須市	隣地を訪問し、売却の提案
北名古屋市	北名古屋市公共施設適正配置計画等により、行政財産としての利用がない普通財産について、計画的に処分等していくよう努めています。
弥富市	弥富市公有財産利活用基本方針を策定
みよし市	事例なし
あま市	特にありません。
長久手市	特になし